

ABSCO EUROSHEDS

EE MAGAZINE



BACK NUMBER

<https://www.eeplan.co.jp/monooki/>



EUROSHEDS OWNER REVIEW BOOK

オーストラリアからやってきたおしゃれな”ユーロ物置®”は日本でも大人気。実際に使っているオーナー様のお話をまとめ、一冊の本にしました。

vol.01~vol.19



EUROSHEDS OWNER REVIEW BOOK

EE MAGAZINE

CONTENTS

vol.01 「この物置を置いただけで毎日がとっておきになる」	04
vol.02 「好きなものだけを詰め込んだ物置」	05
vol.03 「森の中に佇む物置のある暮らし」	06
vol.04 「庭に調和するスマートデザイン」	07
vol.05 「仲間と一緒に組み立てた大型物置」	08
vol.06 「復興支援住宅のユーロ物置®」	09
vol.07 「自作アイデアで物置の積雪対策」	12
vol.08 「古風な庭に映えるおしゃれな物置」	13
vol.09 「大人のための秘密基地」	14
vol.10 「スチール物置を自転車用にアレンジ」	15
vol.11 「青い家と青い物置」	16
vol.12 「素材を活かし、暮らしを楽しむ」	17
vol.13 「自然体で過ごす、素敵な暮らし」	20
vol.14 「家族の暮らしに馴染む物置」	21
vol.15 「ユーロ物置®で作るステンドグラス工房」	22
vol.16 「自然と調和し、見るたびに満足できる物置」	24
vol.17 「ログハウスに馴染むユーロ物置®」	25
vol.18 「広々とした景色の中に佇むワークショップ」	26
vol.19 「用途で使い分ける2台並んだ可愛いユーロ物置®」	27



vol.01
FRONT ENTRY 2314F1

この物置を置いただけで ”毎日がとっておき”になる

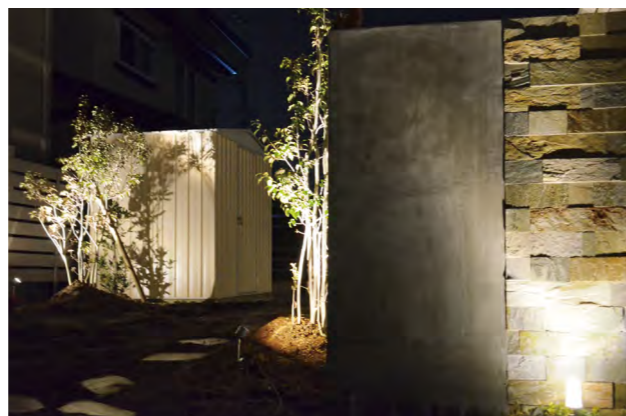
家族の思い出の傍に

「正直、使い勝手は以前使用していた日本製のものの方が上だと思っていたんですけどね。使い始めたら、ユーロ物置®の方が使いやすいです。奥行きが広いのと、扉部分が結構広いのがその理由ですかね。本当にかわいいし、使い勝手もいいし、みんなに薦めたいです。でもやっぱり、使いやすいのが一番かな。こどもたちも、部屋みたいに使ってますよ。もう、うちのメインですよ、本当に。」

「ユーロ物置®は、ご近所の方に教えて頂いて知りました。テラススペースも欲しかったので、サイズは2314F1でちょうどいいかなって。色は悩みましたが、タイルの色と合わせてクリーム色を購入しました。組立は穴の位置とか、最初は難しかったです。購入前に木製の物置と悩んでいたのですが、木製だと40~50万はしちゃうので、値段の面でもかなりリーズナブルで嬉しかったです。日本にないデザインというのも大きいですね。でも使いやすいのが一番かな。思ったより広くて、奥行もすごい。三角屋根もお気に入りです。買ってみたいとわからないところですよ。お隣の神社にお参りに来る方にも、「どこで購入したんですか？」って質問されたりするんですよ。今後はフロアシートや棚をつけたりしてみたいです。」

今のサイズにした決め手は何でしょう。

「サイズはもう少し大きいものでもいいかなって思いましたが、テラス部分も欲しかったので2314F1にしました。でも十分なサイズだったので不便はないです。」



vol.02
BICYCLE CUBE 1523SQ1

好きなものだけを詰め込んだ物置

「海外コンテナみたいなものを探していたんですよ。コンテナだと大きい運ぶ手段もないから、似たようなものないかなって。そうしたらユーロ物置®を見つけたんです。家に合うものが良かったから、四角くて無骨というか、ちょっと冷たい感じがよくて。自分の趣味のものを入れる箱にしたかったんですよ。裏にある物置には二軍の生活のものを入れて、ユーロ物置®には一軍というか、好きなものだけを入れるのにしたかったんですよ。時期によってキャンプ用品を入れたりして、その時期に一番使いたいものを入れてローテーションする感じに。木とか鉄とか、長く使ったらもっと良くなるじゃないですか。そういうのが好きで、物置もその視点で探したんですよ。普通の物置は使った分だけ古くなって味とかでないですけど、ユーロ物置®は使った分味が出るんじゃないかな。すごく気に入って、買って良かったですよ。」

「もともと、かわいいテイストよりもこういうシックな感じが好きだったんです。嫁も僕と同じ好みだったので、その辺は助かりました。使うたびに味が出るものが良くて、そういう視点で探したんですよ。今は僕のバイクや自転車、スノーボードやスケートボードを入れています。あとはこどもの自転車も。あったかくなってきたらキャンプ用品とか入れたいですね。」

組み立てはどうしましたか？

「家を建ててくれた会社をお願いして、一緒に作ってもらったんです。土地の形が正方形とか長方形の四角だったら物置のおく場所がうまくできたと思うんですけど、土地の形が変わったので、なんかしくりいく場所がなくて、一応ここに。僕はコンクリート床にしました。バイクを入れたかったので、木製床だと重たいものを入れるのに不安があったので。それに、コンクリートだと汚れても大丈夫な気がしたんです。実際、汚れもそんなにつかないし、ブレーキ痕とかも大丈夫ですね。」





森の中に佇む物置のある暮らし

「18年間使っていた木の物置が傷んできたので、今回ユーロ物置®を購入することになったんです。この物置だと雨漏りもしないし、劣化もないから。ストーブが焚付なので、杉の葉や薪を割るんです。薪割りの斧とかも入れますよ。最初はスペースセーバーにしようと思っていたんですけど変更して最終的にはこれに。ちょうどいいサイズじゃないかな。インターネットで見て、事務所にお邪魔したら「いいね。」と話がまとまりました。まだほとんど使ってないですけど、タイヤとか杉の葉を入れてますよ。木が周りにある分、色が映えますね。これから中身を少しずつ増やして、そうだな、バーベキューコンロとかも入れたいですね。」

物置の中に入っているのも杉の葉でね。これがいいですよ。だからたくさん入れておくんです。組み立ては、物が大きいし自分たちじゃ難しいかなってことでお願いしました。畑の道具や園芸用品なんかも入れたらちょうどいいサイズなんじゃないかな。」

奥様はガーデン作りをされていて、広い庭にはさまざまな種類のバラやラベンダー、キンモクセイも。シンボルツリーの”エドヒガンザクラ”の下には野生の鳥たちの餌台が置かれ、数十羽の鳥がまいにち餌を食べにやってくるそう。取材中も鳥たちのにぎやかな声が森に響き、あたたかな空気を感じられました。

これからはどのように使いたいですか？

「今後は以前に使用していた物置の中のもの移動させたり、バーベキュー用品とか入れたいですね。息子の友達来たりするので。あとは、今みたいにタイヤを入れたり杉の葉の袋を入れたり、園芸用品や畑の道具も入れようと思っています。」



庭に調和するスマートデザイン

「使い勝手、いいですよ。物置がほしいなって思ってインターネットで探していたら見つけて。同じ長野県だったし、色もいろいろあったから。輸入商品っていう不安はなかったですよ。組立も自分でやりましたけど、簡単でした。どこか一カ所だけ穴が合わなくてドリルで開けましたけど、しょうがない範囲じゃないかな。説明書でいただいたわかりました。」

やっぱりヨーロッパにありそうなデザインがいいですね。置いておいても恥ずかしくないし。色はシルバーと迷って若草にしようって。シルバーは都会的なモダンな家だと似合うと思うけど。購入の決め手もデザインでした。ちょうどいい大きさ。車のタイヤとか園芸道具を入れたりしてます。取り出しやすさは入れ方次第ですかね。ここに入れてある道具を使って庭を手入れしているんですよ。今年の大雪にも耐えましたよ。特に何もなかったんですけどね。結構積もって、たぶん1mくらい。雪下ろしもそんなにしなかったんじゃないかな？強いなって思いましたよ。しっかりと土台は打った方がいいと思います。最初がきれいにいけば、きれいに組み立てられるし。やっぱりコンクリートで施工するのがいいのかもしれない。僕は木製床でDIYしましたが、最初は難しかったです。でもWEBサイトの説明書を見てなんとか。DIYに慣れている、というか、この辺の人は全部自分でやっちゃいますからね。」

組み立てはどうしましたか？

「自分で組み立てました。難しくはなかったです。でもさすがに一人では組立難しいんじゃないかな。僕は妻と2人でやりました。一カ所穴が合わないところがあったのでドリルで新しい穴を開けました。購入から組立、使用まで特に困ったこともありません。説明書を見ればだいたい分かると思いますが、基礎はしっかりやっておいた方がいいと思います。最初がきれいに水平になれば、その後の組立もきれいにできると思いますよ。やっぱりコンクリートを打つのがいいと思いますが、木製床でも水平にできればいいと思います。」



vol.05

FRONT ENTRY 3037F2



仲間と一緒に組み立てた大型物置

「組立は友人と3人でやりました。4時間くらいかかりましたね。自分で道具も持っていたのでそれを使用して作りました。後で気づいたんですけど、フレームの部分で上下間違えてしまって。組立後に気がついたので新しく穴を開けてビスで止めました。そんなに大変に思いませんでした。最初難しいかと思っていたんですけど、組立のパターンが決まっているじゃないですか。パネルを合わせて組み立てるっていう。ただそれを繰り返して面を作っていけばいいだけだから逆に簡単なあって思いました。ただ、建てる時が大変ですね。屋根を乗せる時とか人手がいりました。」

「購入の決め手は広さと見た目ですね。車のパーツやキャンプ用品を収納しようと思っていたので。三角屋根の物置って珍しいから、それもいいなって。色は最初クリーム色もいいねって話をしていたんですが、事務所に行って実際物を見てみたら若草色もいいなって思って、最終的には若草色に。普通物置ってブロックの上に設置しているものが多いけど、ユーロ物置®はコンクリートの上に建てるというのも決め手です。ゆくゆくはガレージをとなりに建てられたらいいなと思っているので、基礎は決め手になりました。あとは耐久性ですかね。鉄板なので長く使えそう。もし色あせてきたら好きな色に塗っちゃえばいいなって思ってます。」

「使い勝手も非常にいいです。この物置は真四角なので物を置く位置が決めやすい。車の部品がたくさんあるんですけど、友人のところに置かせてもらっているの、それを綺麗に入れたいですね。消防署にある訓練場をみんなで作るんですけど、そのあまりももらってきて棚を作りました。DIYはそうですね、嫌いじゃないです。物置内はソーラーのセンターライトを付けて夜でも出し入れできるようにしました。」



vol.06

FRONT ENTRY 2314F1



復興支援住宅のユーロ物置®

ユーロ物置®と復興支援住宅

福島県飯館村の復興支援住宅に、ユーロ物置®が採用されました。東日本大震災の後、各地で復興支援住宅の建設が進んでおります。福島県飯館村にも復興支援住宅が建設され、各母屋の前には緑色のユーロ物置®2314F1の姿が。おしゃれな物置を置く事で家の印象が大きく変わり、毎日が楽しくなれば、とイーブランは思います。

ほら、一目ただけで分かるでしょ？ユーロ物置®は単体で見るとよりも景色と一緒に見た方がその良さがぐんと伝わる。決して主張しすぎないシンプルなデザイン。だけど周りの景色を一層美しく魅せてくれる。住んでいる家がみんなに紹介したくなる様な家ならきっと毎日ちょっとだけ楽しくなるはず。さあ、あなたならどんなユーロ物置®を選びますか？

飯館村の復興支援住宅に選ばれたのはフロントエントリー 2314F1の若草色。フロントエントリーには他にも様々なサイズがあり、2枚扉の物や奥行きがあるもの、中にはバイクの収納もできる程大きなサイズもあります。また、狭い空間にも設置ができるスペースセーバータイプや自転車などの格納もできるバイクキューブなどシンプルなデザインはそのままに、多彩なシーンに合わせたものを取

り揃えています。色彩は全7色（2020年11月現在）。あなたの好みのユーロ物置®はどれでしょうか。



BREAK TIME !

スタッフのオススメオプション

ユーロ物置®を日々販売しているスタッフのイチオシ！
一緒に手に入れたい追加オプションはこれだ！



1

ステンレスドアロック

木製スノーキットはイーブランが設計した積雪強度を向上させるオプションです。これを取り付けておけば積雪時も安心！木材なので収納レイアウトにも役立ちます。

2

輸入窓

みなさまのリクエストにお応えして登場したオプションです。ユーロ物置®のデザインを崩すことなく、動きもスムーズでストレスがありません！

3

木製スノーキット

換気や明かりとりとして輸入窓がおすすめです。取り付けると物置がとても使いやすく快適になります！ダブルハング、ケースメント、オーニングの3種類から選べます。

BREAK TIME !

ユーロ物置® お邪魔します！



使い方無限大！

例えばお部屋、例えばガレージ。アウトドア用品を詰め込んだり、自転車置き場にしたり、ユーロ物置®だからこそ収納が楽しくなること間違いなし！



vol. 11
FRONT ENTRY 3014F2

青い家と青い物置

「普通の物置は嫌で、ネットで"おしゃれ物置"って探したの。いろいろ出てきたんだけど、なかなか気に入ったものが見つからなかった。一年間くらいずっと探し続けていたんだけど、その間屋に入れているものはずっと外に出っ放しだった。で、やっと見つけた。なにこの色！って。前から商品は知っていたんだけど、若草色とシルバーだとちょっとイメージと違ってた。やるならシルバーだけど、やっぱりしっくりきていなくて。でもどこかで絶対会おうから焦っちゃいけないって思った。母屋の外壁もアメリカから取り寄せてこだわったから、物置の色彩にもこだわりました。なんといっても倉庫で三角形の屋根ってとってもおしゃれですよ。すぐにとびつきました。新色のディーブオーシャンが発売されたのでこれしかないって！一番の決め手になりました。」

そこまで大きな不安はありませんでした。購入前にホームページで施工事例等を確認してからイーブランさんにカタログ、取扱説明書の資料請求。早急に親身に対応して頂いたのですぐに決めました。カンヌキは付属してますがステンレスの国産のものに変えました。扉を全開した時にバタバタするので左右にストッパーを設置しました。センサー式ソーラーパネルのLED照明を庫内と入口に設置、暗くても手がふさがってもライトが点きます。困ったことは結構

屋内が暑いですね。排気口みたいなものがあればいいのになって思ったかな。空気の入替えをしたいなっていうのはあります。それから、付属のアンカーだとL字の金物が短いところがあるから気をつけなれないとダメですね。」



vol. 12
SIDE ENTRY 23301GK & FRONT ENTRY 2314F1

素材を活かし、暮らしを楽しむ

趣味のための空間と、暮らしに必要な空間

「ものづくりが好きなので、いろんなものを作ります。最初は椅子から始めて、家のウッドデッキなんかも自分で作りました。屋内に取り付けたスノーキットも日曜大工の資材の余りで作ったんです。今後は棚をつけようかなと考えています。2314F1には主に生活で使わなくなったものなどを入れています。妻が子供向けの英語教室をやっていて、そこで使ったものとか、あとは自家製の味噌とかね。」

「家や全体のイメージに合うものがよかったんです。ユーロ物置®は実際に見ていいなって思って。今、いろんな色が出てますが、実物を見たときにシルバーしかないかなって思いました。シルバーには無機質な感じというか、スチールならではの味がダイレクトにあるなって思いました。素材の質感を大事にしています。最初は自然そのものを楽しむことができるし、劣化してきたときに自分でメンテナンスすることもできますので、最初はなるべく自然に近いものを使いたいと思ったんです。その方が長く楽しめますから。フロントエントリーの3022F2と同じ面積かと思っていたら、2330S1の方が少し大きくて。後から基礎の隙間を補修したんです。」

メンテナンスは億劫にはなりませんか？

「自分で手を加えることが好きなんです。そのままでも十分使えますが、自分で加工することによって、もっと使い勝手がよくなり見た目も良くなるのがすごく楽しいです。家などはなかなか自分でメンテナンスできないですからね。建てたらそこで完成、という感じで。物置やガレージは建物を作ってもそのあとの中身を自分で手を加えて造っていくことができるから、それが面白いんです。」





vol.07
SPACE SAVER 2308K1

自作アイデアで物置の積雪対策

車への積み下ろしがしやすい様に、物置をもう一台。

「実は家の裏に物置はあるんです。子供が大きくなり、外で遊んだりする機会も増えたので家の表側にも物置が欲しいなと思ひました。家族でスキーやマウンテンバイクをやっているの、道具が車に積みやすいように駐車場の近くに設置しました。米の製品はデザインが綺麗ですから。クリーム色にしたのは家の外観と合うかなと思ったからユーロ物置®を選びました。」

「2308K1 にした理由は、庭でバーベキューをするので、庭が狭くならないよというのが一つ。それから、物置はもう1台あるので、車にすぐ積んで運べるものにしぼって収納するので、サイズもちょうど良かったです。」

「基礎は木製床で本体と合わせて施工をしていただきましたが、中に物を入れる前にホームセンター 2×4 のブロックを買ってきて下に入れたんです。それを地面と固定して強度を上げました。作業自体は、夫婦で交代に一人が物置を持ち上げている間にもう一人がブロックを入れる、といった具合でした。中に物を入れる前でしたし、物自体がそんなに大きい品番ではなかったので持ち上げられました。普通の電動ドリルで止めただけなんですけど、今のところ問題なく傾いたりもせずに使えています。」

「ユーロ物置® を選んだのは、母屋をイープランで施工しておりました。子供も大きくなって物置がもう一台欲しいと思った時に、イープランに相談をしたところおすすめいただいたのがきっかけです。その後、WEB サイト等を見て決めました。一番気に入ってるのはデザイン。綺麗ですよ。シンプルです。どんな家でもシンプルなデザインは合いますし、そういうところはおすすめです。」



vol.08
FRONT ENTRY 3021F2

古風な庭に映えるおしゃれ物置

「SNS で見つけた時は「なんだこれは！」って思って即決でした。最初に見た写真が若草色だったので、これがかっこいいなって思ったんです。家の二階から物置を見ると、とてもかわいいんですよ。いろんなものを収納したかったので大きいサイズがいいかなって。今考えたらもっと大きくても良かったかな？今の品番も結構広くて、収納物がまだ増えても平気かな。別の物置に入っていたものをユーロ物置の中に移したんですけど、結構入りました。スチールラックを購入して置いています。バーベキュー用品とか結構多いから、たくさん入るのはいいですよ。最初は別の場所に設置しようと思っていました。でも山梨は風が強いので、その点は少し不安がありました。母のアドバイスもあって今の場所に変更しましたが、導線もいいし結果的にここに正解でした。」

「最初に見た写真が若草色だったんです。だからこれがかっこいいなって思っていて、若草色にしました。白っぽいのだと国産の物置みたく見えちゃうかな？って心配だったので、とてもかっこいいですよ。庭の砂が入らないように、ホームセンターで石を買ってきて入り口に置いたんです。枕木みたく見えるのも実は石なんです。本物の枕木より本物みたいですよ。」





vol. 11
FRONT ENTRY 3014F2

青い家と青い物置

「普通の物置は嫌で、ネットで"おしゃれ物置"って探したの。いろいろ出てきたんだけど、なかなか気に入ったものが見つからなかった。一年間くらいずっと探し続けていたんだけど、その間屋に入れているものはずっと外に出っ放しだった。で、やっと見つけた。なにこの色！って。前から商品は知っていたんだけど、若草色とシルバーだとちょっとイメージと違ってた。やるならシルバーだけど、やっぱりしっくりきていなくて。でもどこかで絶対会おうから焦っちゃいけないって思った。母屋の外壁もアメリカから取り寄せてこだわったから、物置の色彩にもこだわりました。なんといっても倉庫で三角形の屋根ってとってもおしゃれですよ。すぐにとびつきました。新色のディーブオーシャンが発売されたのでこれしかないって！一番の決め手になりました。」

そこまで大きな不安はありませんでした。購入前にホームページで施工事例等を確認してからイーブランさんにカタログ、取扱説明書の資料請求。早急に親身に対応して頂いたのですぐに決めました。カンヌキは付属してますがステンレスの国産のものに変えました。扉を全開した時にバタバタするので左右にストッパーを設置しました。センサー式ソーラーパネルのLED照明を庫内と入口に設置、暗くても手がふさがってもライトが点きます。困ったことは結構

屋内が暑いですね。排気口みたいなものがあればいいのになって思ったかな。空気の入替えをしたいなっていうのはあります。それから、付属のアンカーだとL字の金物が短いところがあるから気をつけなれないとダメですね。」



vol. 12
SIDE ENTRY 23301GK & FRONT ENTRY 2314F1

素材を活かし、暮らしを楽しむ

趣味のための空間と、暮らしに必要な空間

「ものづくりが好きなので、いろんなものを作ります。最初は椅子から始めて、家のウッドデッキなんかも自分で作りました。屋内に取り付けたスノーキットも日曜大工の資材の余りで作ったんです。今後は棚をつけようかなと考えています。2314F1には主に生活で使わなくなったものなどを入れています。妻が子供向けの英語教室をやっていて、そこで使ったものとか、あとは自家製の味噌とかね。」

「家や全体のイメージに合うものがよかったんです。ユーロ物置®は実際に見ていいなって思って。今、いろんな色が出てますが、実物を見たときにシルバーしかないかなって思いました。シルバーには無機質な感じというか、スチールならではの味がダイレクトにあるなって思いました。素材の質感を大事にしています。最初は自然そのものを楽しむことができるし、劣化してきたときに自分でメンテナンスすることもできますので、最初はなるべく自然に近いものを使いたいと思ったんです。その方が長く楽しめますから。フロントエントリーの3022F2と同じ面積かと思っていたら、2330S1の方が少し大きくて。後から基礎の隙間を補修したんです。」

メンテナンスは億劫にはなりませんか？

「自分で手を加えることが好きなんです。そのままでも十分使えますが、自分で加工することによって、もっと使い勝手がよくなり見た目も良くなるのがすごく楽しいです。家などはなかなか自分でメンテナンスできないですからね。建てたらそこで完成、という感じで。物置やガレージは建物を作ってもそのあとの中身を自分で手を加えて造っていくことができるから、それが面白いんです。」





自然体で過ごす、居心地のいい暮らし

「住宅を先に建てたんです。だから物置は後回しになってしまっただけです。物置を選ぶときにまず考えていたのが、家や敷地のデザインに合うものがないということ。物置だけが浮いてしまわないように商品を選ぶ中で、ユーロ物置®ならしくりくるなあと思っていましたね。一番決定的だったのがデザインです。家の外観に合う物置を探していたんです。普通の物置だと浮いてしまうと思いましたが、ユーロ物置®ならしくりくるなあと購入しました。オーストラリアに住んでいた時にユーロ物置®は使用していました。その時に、これ使い易いなあと思っていました。鍵が片手では閉まりづらいたのですが、それもご愛嬌というか大きな問題ではないと思っています。」

「屋内木構造 2×4works をつけていますが、あれはつけて良かったです。大雪もありましたし、あれが補強になっていて、強さの面が随分違うのかなと思います。あれを入れると申請しなくていいというのもすごいアイデアだと思います。」

「メンテナンスが億劫になる時もありますよ。なるけど、しょうがないと思ってやっていかないと。家の壁も 3 年おきとかで塗装し直さなきゃいけないんですが、そういう手のかかることが好きなんですよね。手を加えることで愛着も出てきますしね。」



「家が黒なので、そこに合う物置ということで。クリーム色や若草色も素敵ですが、それよりもシルバーの方がシャキッとするので。全体的な調和を考えるとやっぱりシルバーでした。何年か前に大雪が降りまして、屋根の上の雪が物置の上に直撃してしまっただけです。物置の屋根が凹んでしまったのですが保証の対象外でしたので、自分で屋根をまっすぐにする修理をしました。アナログ的なものが夫婦で好きなんです。不便な部分も、味のひとつだと捉えています。例えば扉の開閉もちょっと押しないと閉まらないけれど、そういうものだという感覚があります。むしろ荒削りな方が生活スタイルに合っているのかも。」



家族の暮らしに馴染んでいく物置

「家の設計段階から屋外に収納スペースを作ろうと思っていました。設計図にも場所を確保してもらって。最初はコンテナハウスみたいなものを考えていたんです。でも大きさとか屋内の熱とか、なかなか希望通りのものが見つからない中で他にいいものはないかと探していたところにユーロ物置®を見つけました。物置を選ぶ時には普通と違うものにしたいと思っていました。自転車もユーロ物置®の中に入れようと思っていたのですが、出し入れが不便かなと思って自転車用に別の物置を購入しました。その方が便利です。最初はコンテナハウスで考えていたので、物置を 2 台購入しても大幅な経費削減になったんです。物置の中に入れた棚も、物置を買ったら入れたいと思っていた。棚は絶対です、あるとすごく便利に収納できます。」

「使ってみた感じはとていいですよ。"いい"しかない。設置した感じもイメージ通りですし、使い勝手も悪くない。ただ、ここは風が強い地域なので扉のストッパーのようなものがあると嬉しいですね。今は石で扉を押えていますけど、石ですから。あとはビスが錆びてきたので、そろそろ変えようと思っています。」



一つ一つ手を加えて、より収納しやすい物置にする。

「屋内の木は自分で手を加えました。余っていたものをもらってきて使っただけなんですけど。付属されている令 40 条キットは最初はないものだと思っていたんですが、むしろ合ってたんです。これがあるおかげで木も取り付けることができましたし、元々壁に何かつけようと思っていたので、僕らは便利に使っています。」





vol. 15

WORK SHOP 4523WK2 & SPACE SAVER 3008K2

ユーロ物置で作るステンドグラス工房

「妻がステンドグラスをやっているの、ガレージじゃなくて荷物を入れる場所とワークショップで良いんじゃないって。母屋が平屋なので部屋数が少ないんです。もう一部屋欲しかったんですけどつくれないって時に丁度よかったですよ。扉は開けて作業をしています。実は断熱してもらっていて、ウレタンも入っているから結構音ももれないんですよ。内装の木は何の木を使っているかわからないですけど、色の違いが出るようにニス塗ってくれてるんですって。こんなに素敵してくれるなんて想像してなかったです！輸入物が好きというわけではなくて、全然なんでもいいんです。オシャレだったり、かっこよかったりして気に入ったものであれば。輸入物を買う不安とかはありましたよ、気にしつつですね。寸法が合わなかったり、隙間があたりとかの怖さはありましたよね。でも実際建てたらそんなに気になりませんでした。だからもう一つ置くスペースが出来た時に「置いちゃえ、いいじゃん」って感じて迷わず置きました。2つあったら格好良いだろうねっていう感じで。ワークショップを工房にしたら、収納が少なくなっちゃったんです。だからもう一個建てる？同じ色で似た形のものって。2つ建てたことで目隠しというか防犯にもなるし、いいかなと思ってます。とりあえず使いながら、どこにどう置いたら使い勝手が良いかなって考えていたんですけど、スペースが本当シンプルなので一棚が作りやすいです。自分で木を切ってつけるくらいは出来るので作りまし

た。ユーロ物置®を選んだ理由は、おしゃれだから！おしゃれなもの探してインターネットで見つけて、たどり着いたんですよ。最初から母屋が出来上がったら建てようと考えていました。種類が多いので敷地に収まる形にしようと思っていたんですけど、いろんなサイズがあるなあと見ている中でワークショップも選んでました。妻の希望でシルバーになりました。僕は若草やディープオーシャンも好きでいいなって思ったんですけど、妻が終始一点張りて（笑）。外にかかっているハシゴは子供たちが使っていた2段ベットに付属していたものなんです、おのおのの部屋ができたので2段ベットを分割して必要なくなって。どうする？ってなった時に、物置にかけたら可愛かったから。」



BREAK TIME!

10 平米以上の物置には 確認申請が必要です！

建築基準法では、10 平米以上の物置を設置するには確認申請が必要です。ユーロ物置® の場合、フロントエントリー 3037F2、ワークショップ 4530WK2、3045HK2、6030HK3、3060HK3 が建築後の平米数が 10 平米を越えるため確認申請が必要です。

1 イープランと共同作業

費用：7 万円（証紙代）



※修正箇所がなくなり提出できるまで2~5のやりとりを2、3回繰り返します。

2 すべておまかせ

費用：28 万円

方法1、2共に必要な書類・図面など母屋の情報提供にご協力ください。

vol. 18

WORKSHOP 6030HK3



広々とした景色の中に佇むワークショップ

「最初は車庫っぽいのがよかったんですけど、そのサイズを探していたこの品番になりました。仕事で物置として使おうと思って購入しました。ブライダル関係の仕事なんですけど、商品とか席次表とかを作っています。それ以外の収納は子供の自転車を入れたりとかですね。あと今はわんちゃんおいてますけど。周辺は元々田んぼです。それを申請して宅地にしたんです。基礎は業者さんをお願いしました。家はまだ建ててから一年半くらいです。物置の形は気に入っています。今の所不具合もありません。強いて言えば気になるのは壁の薄さですね。木のオプションで頑丈なので大丈夫だと思います。もちろん、他社とも比較しました。普通のものよりおしゃれな方がいいなって。値段は思ったよりは高くなかったのかな。値段とかよりも強度が心配っていうのがありましたけど、組み立てている段階を見ていて問題はないかなと思いました。中の木がしっかりしているの。」

「今度はもうちょっと壁をしっかりと物置と棚を作ろうかなとは思っています。自分たちで作るなら木製がいいかなとは思っています。DIY はそこまでませんが、やってみたくなってます。家の周りは砂利のままなんですけど、芝とか木とか入る予定です。そうしたら全体的にバランスは良くなるかなと。植える木は多分オリーブの木って言うたかな？最初は苗からかも。」

犬小屋として使用されているとか？

「いずれはしっかり形を作ってあげたいなとは思っています。今はとりあえず生活をさせてあげられるようにって思っています。」



vol. 19

FRONT ENTRY 2314F1



用途で使い分ける二台並んだ可愛い物置

「去年の5月に新築したので、ちょうど1年くらい経ちました。だいぶものが増えてきていたので、物置を探していました。場所的に玄関の前に作りたかったんです。玄関の前だと、やっぱり格好いい物置がいいなと探していました。インターネットとかホームセンターとか、いろんなものを見てユーロ物置®を見つけた。「かっこいい」と思って。それでユーロ物置®にしようかなって。」

「物置に収納するもの毎に使い分けようと思っていました。大きいサイズ、3029F2には基本的に自転車を入れてます。主人のものが2台、私のものが1台、子供のものが1台の計4台が入っています。普段は鍵をかけて大事なものをしまうようになっています。小さいサイズ、2314F1は普段のゴミとか庭の道具とか、いつも使うようなものを出し入れしやすいように収納しようかなと思って。主人が自転車とかスキーボードとか大事なものをしまいたっていうので、そこに普段の生活用品が荷物として入っちゃうとちょっとかわいそうかなって思っていて。日常のものを入れるにしても玄関先に置くので、物置って感じがするよりはおしゃれなものがよかったんです。三角屋根を2台選びましたが、色も可愛かったしね。物置は私が選びました。雪は普段はあまり降りませんね。去年も一回20センチ降ったかどうかぐらいで、すぐ次の日には溶けちゃいました。降った時は潰れたら困ると思って雪下ろしはしましたけど、

でもそんなに回数でもないので特別不安にはなりません。金額もあの大きさになると他社とあまり変わりませんでした。ホームセンターとか、メーカーのエクステリア部門で見積もりとかしてもらったりとかしたんですけど、そんなに変わりはありませんでした。だから外観重視にできたんです。

輸入製品ということに関しては、ロコミとか見るとビスの穴が合わないとかあったので、建ててもらうときは専門の人にやってもらおうと思っていました。でもそんなに不安はなかったかな。ちょっと雨漏りがあったりしましたね。風が強い地域なので、降る時は横殴りに降るんです。事前にご説明頂いてはありましたが、屋根と壁の隙間から風が吹き込んでくるのがあったので、スポンジで隙間を埋めました。」

